



AG-3DA1

## “その場にいるような雰囲気と情緒までが伝わってくる” 新しい撮影技術の構築を

株式会社 フラワービデオ

福岡を拠点に催事・ブライダル映像の制作を手掛ける（株）フラワービデオは、パナソニックの一体型二眼式3Dカメラレコーダー【AG-3DA1】を導入するとともに、3D編集システムを設備するなど、3D制作における撮影から完パケまでの一貫体制を整えている。

同社の代表取締役社長である田崎信雄氏は「1983年の設立から28年目を迎えたが、一貫して“ハイセンス・ハイクオリティ”を目指してきました。そのため、新しい技術の導入には積極的に取り組んでいます。“オンライン／オフライン”となるため、他に先行して技術革新に対応し、いち早くサービス提供することを心掛けています」と話す。実際、結婚式や披露宴の映像をブルーレイディスクに収録するサービスなど、常に業界の先駆け的存在として広く知られている。

3D映像制作についても同様で、ブライダル業界における実用化は全国的にもまだ珍しく、特に九州エリアでは初となる。「現段階での一般家庭用3Dテレビの普及率を考えれば、確かに先行投資ではあります。ですが、顧客ニーズが顕在化してから導入するのではなく、潜在的な需要を感じ取った結果、3D制作への本格稼働に踏み切りました」と田崎氏。

そのメインツールとなる【AG-3DA1】との出会いは、放送機器展の会場だったという。同カメラで撮影されたデモ映像を目にした田崎氏は「3D映像ならではのインパクト、臨場感、迫力を実感しました。まるでその場にいるような雰囲気と情緒までが伝わってくる感覚があった。これはブライダル映像にはうってつけだ



田崎信雄氏



と思い、「AG-3DA1」の導入を即決しました」と振り返る。カメラマンには、テスト撮影を通じたノウハウの習熟を課すとともに、ウェディングドレスのファッショショニエなどすでに3D撮影を行っている。

田崎氏は、「AG-3DA1」は軽量・コンパクトなため、結婚式や披露宴の雰囲気を壊さずに撮影できるというのは大きなメリット。撮影するカメラマンにとって狙いとするアングルに入りやすい。ただし、ズームやパンなど、従来の2D撮影では自由に出来たことが、3Dでは出来ないといった制約も少なくないため、カメラマンには3Dならではのアングルや撮り方などのスキルアップをさせているところ」という。

ちなみに、同社が導入した「AG-3DA1」のシリアルナンバーは“No.0008”。「私たちはブライダル映像の制作会社ですから、“末広がり”を意味する『8番』には運命的な出会いを感じました」。また、3D映像の効果を実際に体験してもらうことを目的に、パナソニック「3D VIERA」も併せて導入している。

フラワービデオでは、結婚式から披露宴までの模様を撮影し、10～15分程度に編集した後、ハイライトムービーとしてブルーレイディスクで提供する“モーションクリップ”サービスが好評を博しており、今後は同サービスの“3D版”を積極展開していく考え。提携先の式場で開催されるブライダルフェアなどに、3D映像を体験できるブースを設置し、PR展開を実施している。

田崎氏は「3D映像は2Dと違い、あまり長い時間視聴するとどうしても疲れます。そのため、私たちはモーションクリップをメインにした3Dの活用を考えています。バージンロードやキャンドルサービス、フラワーシャワーなど3Dが大きな演出効果を発揮する“見せ場”を高いクオリティで収録し、その映像をフルHDのままブルーレイで提供できるのは当社の強み」と話す。

そして、「いかに3D映像の効果を最大限に引き出せるか。【AG-3DA1】の活用を通じて、新たな撮影技術の構築をこれからも追求していく」と語る。